

教頭会での用字・用語集

2021年4月

NO.1

教頭会で記録集等を作成する場合、文章表現を統一するため、下表のようにしたいと思いますので、よろしくお願いします。

→ 使用説明 × 使用禁止

よみかた	教頭会での使用	摘要
〇〇にわたって	〇〇にわたって	長年にわたって
〇〇をはじめ	〇〇をはじめ	
〇〇するとき	〇〇するとき	
あ	挨拶	
あう	合う	計算が合う
	会う	客と会う
	遭う	災難に遭う
あとしまつ	後始末	
あらわす	表す	感情を表す 絵画、音楽で表す
	著す	書物で著す
	現す	姿を現す 頭角を現す
	現れる	成果が現れる 本性が現れる
ありかた	在り方	
ありがたい	有り難い	
ありがとう	ありがとう	
あるいは	あるいは	× 或いは
あんぜんあんしん	安全・安心	× 安心・安全
い	～いう	～という場合 そういうこと
	言う	～と言えよう 彼が言う
いかす	生かす	× 活かす
いきいき	生き生き	生き生きとした顔
いくつか	幾つか	幾つかの方法
いくら	幾ら	幾ら考えても
いたします	いたします	△ 致します
いただく	いただく	連絡していただく
いたむ	痛む	腰が痛む
	傷む	家が傷む 傷んだ果物
	悼む	友人の死を悼む
いちにち	一日	→ 日付 日数なら「1日」
いちばん	一番	一番で入賞した
いっかげつ	1か月	× 1ヶ月 × 1カ月
いっしょ	一緒	友達と一緒に
いっしょうけんめい	一生懸命	
いっそう	一層	一層の努力
いったん	一旦	一旦休憩する
いっぱい	いっぱい	登山客でいっぱい 腹いっぱい
	一杯	水一杯 一杯飲む
いっぺんに	いっぺんに	いっぺんにまいてしまう
いまさら	いまさら、(今更)	いまさら手の打ちようがない
いやす	癒す	心を癒す
いる	入る	気に入る 手に入れる
	要る	保証人が要る
	いる	関係者がいる ～している
いれかえ	入替え	入れ替わり 入れ替える
いろいろ	いろいろ	
いろづかい	色使い	
いりぐち	入り口	出入り口 × 入口

	よみかた	教頭会での使用	摘要
う	うかがえる	伺える	
	うちあわせ	打合せ	
	うまい	うまい	×上手い
	うれしい	うれしい	×嬉しい
え	えがく	描く	→「描く」は「かく」とも読む
	おういん	押印	→法令では、「捺印」は用いない。
お	おうせい	旺盛	
	おおいに	大いに	
	おおかた	大方、おおかた	
	おおぜい	大勢	→「多勢」は「たぜい」と読む
	おおまか	大まか	大まかな予想
	おおめ	多め、(多目)	多めに準備
		大目	大目に見る
	おくれる	遅れる	会合に遅れる
		後れる	人に後れをとる
	おさめる	修める	学問を修める 身を修める
収める		成果を収める 倉庫に収める	
納める		税金を納める 手数料を納める	
治める		国を治める 乱を治める	
おとなしい	おとなしい	×大人しい	
おもいつく	思い付く		
おもしろい	おもしろい		
おもてむき	表向き		
おももち	面持ち	心配そうな面持ち	
および	及び		
およびす	及ぼす	影響を及ぼす	
おわび	おわび	おわびの言葉	
おわり	終わり		
おんわ	穏和	→おとなしいこと、おだやかなこと 穏和な性質 穏和な表現	
	温和	→気候がのどか、性質がおだやか 温和な風土 温和な人柄	
か	箇	→複合の語として漢字若しくは、漢数字に続く場合 何箇月 数箇所 何箇条	
	か	→漢数字又は算用数字に続く場合 1か月 2か所 ×3カ所 ×3ヶ所	
かえる	変える	観点を変える	
	換える	名義を書き換える	
	替える	替え地 替え刃 替え玉	
	代える	書面をもってあいさつに代える	
かかわらず	かかわらず	×関わらず ×拘わらず	
かかわり、かかわる	関わり、関わる		
かけあし	駆け足		
かけざん	掛け算	乗法 割り算 足し算	
かげひなた	陰ひなた	×陰日向 ×陰日なた	
かける	～掛ける	心掛ける 呼び掛ける 声を掛ける	
かしたす	貸し出す		
かたづける	片付ける		
がんばる	頑張る		

よみかた		教頭会での使用	摘要
き	きがかり	気掛かり	→「かける」参照
	きく	聞く	人の話を聞く 命令を聞く
		聴く	音楽を聴く 国民の声を聴く
		利く	機転が利く 目が利く
		効く	効き目がある 薬が効く
	きじゆん	基準	→基本となる標準 合格基準 調査基準
		規準	→守るべき規律・法則 行動規準
	きそきほん	基礎・基本	× 基礎基本
	きちょうめん	きちょうめん	× 几帳面
	きづかい	気遣い	
	きづく	気付く	
	きほんてきな	基本的な生活習慣	× 基本的な生活習慣
	きまり	きまり	
	きょうざいきょうぐ	教材・教具	× 教材教具
	きをつける	気を付ける	
	きょうこう	強行	強行に推進する
		強硬	強硬な意見に反対
	きょうちょう	協調	協調の精神
		強調	平和を強調する
	きょうどう	協同	→共に心と力を合わせて 協同組合
		共同	→2人以上の者が力を合わせて 共同募金
		協働	→協力して働いて
		共働	→互いに働きかけて
く	くずす	崩す	
	ください	ください	ご出席ください してください(形式動詞)
		下さい	資料を下さい(動詞)
	くつがえす	覆す	自供を覆す
	くふうかいぜん	工夫改善	× 工夫・改善
	くみあわせ	組み合わせ、(組合せ)	
	くらい	～くらい	そのくらい どのくらい
	くりかえす	繰り返す	
こ	ご	御	御理解 御指導 御助言 御挨拶
	こえる	越える	山を越える 年を越す
		超える	100万円を超える
	こころがける	心掛ける	
	こたえる	答える	質問に答える
		応える	要望に応える 期待に応える
	ことなる	異なる	
	ことのほか	殊の外	
	ことばづかい	言葉遣い	→「使い方」のときは「言葉の使い方」
	こども	子供	※ 2019年度より漢字に変更
	このたび	このたび	
	ころ	頃	日頃から 3月頃
さ	ささいな	ささいな	× 些細な
	さらに	更に、さらに	更に(副詞) さらに、(接続語)
	さらいねん	再来年	
	さまざま	さまざま、(様々)	

	よみかた	教頭会での使用	摘要
し	しかた	仕方	仕方がない 返事の仕方
	しかる	叱る	
	しせつせつび	施設・設備	×施設設備
	しだい(に)	しだい(に)、次第(に)	
	したがって	したがって	
	したく	支度	
	してください、していく、してみる	してください、していく、してみる	形式動詞は平仮名
	じどうせいと	児童生徒	×児童・生徒
	しみゆれーしょん	シミュレーション	×シュミレーション
	しめきり	締め切り、(締切り)	
	しゅういつかせい	週5日制	
	しゅうとくする	習得する	→実地に繰り返し習って覚える場合 語学を習得する
		修得する	→単位や課程を修了した場合 技術を修得する
	じゅうぶん	十分	
	しょうちゅうがっこう	小・中学校	×小中学校
	じよじよ	徐々	
す	すいこう	推こう	文章を推こうする
	ずいじ	随時	随時行う
	すぐに	すぐに	×直ぐに
	ずいぶん	ずいぶん、(随分)	随分早く着いた
	すぐれる	優れる	
	すすんで	進んで	
	すでに	既に	
	すばらしい	すばらしい	
	すべて	全て	全て順調
せ	せいさく	制作/製作	小指導要領は「製作」「制作」は中学・高校で
	せいちょう	成長	朝顔の成長 虫の成長
	ぜひ	是非、(ぜひ)	
そ	そういくふう	創意工夫	×創意・工夫
	そうほう	双方	双方から事情を聞く
	そのた	その他	→公用文では「そのほか」と読まない
	そのほか	そのほか、その外	×その他
	そまつな	粗末な	粗末に扱う
	そろえる	そろえる	×揃える
た	たいがい	大概	大概知っている
	だいじょうぶ	大丈夫	
	たいそう	大層	大層寒い
	だいたい	大体	
	だいぶ(ん)	大分	大分よくなった
	たいへん	大変	大変すばらしい
	ただし	但し、ただし	
	ただちに	直ちに	直ちに出発する
	たち	～たち	→友達以外は「たち」 生徒たち 子どもたち
	たとえば	例えば	
	たび	～たび	このたび ～するたび ×この度
	たぶん	たぶん、多分	多分いけます
	たんきゅう	探究	学問を探究する
		探求	人生の意義を探求する
	だれ	誰	
	だめ	駄目	駄目で元々

よみかた		教頭会での使用	摘要
つ	つきゅう	追究	課題、真理、真実、本質、美
		追求	幸福、理想、利益、利潤
		追及	責任、原因、出所、汚職
	ついに	ついに	△遂に
	づかい	～使い	指使い 人使い 言葉の使い方
		～遣い	言葉遣い 筆遣い 無駄遣い 息遣い 小遣い
	つく	～つく	色づく 近づく 傷つく
		～付く	身に付く 言い付ける 気付く
	つくり	～つくり	体力づくり
	づくり	～づくり	学校づくり
	づける	～付ける	→接尾語的につかう場合
	つごう	都合	都合が悪い
	つど	都度	その都度
	つとめる	努める	学力の向上に努める(努力する)
		務める	会長を務める(任務として)
		勤める	会社に勤める
	つみかさねる	積み重ねる	
て	ていねい	丁寧	
	ていーていー	T・T	×TT
	ていーむていーちんぐ	ティーム・ティーチング	×ティームティーチング
	でき	出来	出来がよい
	てきかく	的確	→的を外れず確かで、間違いのないこと 的確な判断を下す
		適確	→適正で確実なこと、もっともよい方法 適確な措置を講ずる
		適格	適格者
	てだて	手立て	解決の手立てを考える
と	とおり	通り	一通り 銀座通り
		～のおり	次のとおり 上記のおり
	どうし	同志	→主義・主張を同じくする仲間 同志を募る 同志の面々
		同士	→同じ種類、状態、関係にある仲間 敵同士 男同士 仲間同士
	ときどき	時々	時々の草花をめでる 時々夢を見る
	ともだち	友達	
	ともに	ともに	～するとともに 心身ともに 今後とも
		共に	両親と共に(「人」と共に)
	とらえる	捉える	機会を捉える
	とりあげる	取り上げる	
	とりあつかい	取り扱い、(取扱い)	
	とりくみ	取組	→名詞の場合 相撲の取組
	とりくむ	取り組む、(取組む)	→動詞の場合
な	なかよく	仲良く	仲良し 仲がよい
	など	等/など	→「等」は「など」と読まない。「とう」と読むなら「等」
	なごやか	和やか	
	なにごとにも	何事にも	
	なにとぞ	何とぞ	何とぞよろしく
	なにぶん	何分	何分不慣れで
	なみなみ	並々	並々ならぬ努力
	ならびに	並びに	A並びにB
に	にぎやか	にぎやか	にぎやかな町

よみかた		教頭会での使用	摘 要
ね	ねる	練る	計画を練る 粉を練る
の	のぞみ、のぞむ	臨み、臨む	～に臨み ～に臨む
は	はいふ	配布	→広く行き渡るように配ること チラシを配布する
		配付	→特定の一人一人に配ること 健康手帳を配付する
	はがす	剥がす	剥ぐ 剥げる
	はかる	図る	問題解決を図る
		計る	時間を計る 計り知れない恩恵
		測る	距離を測る 面積を測る
		量る	目方を量る 容積を量る
		謀る	暗殺を謀る
		諮る	審議会に諮る
	はぐくむ	育む	
	はじめ	初め	→時に関する最初のころのこと 年の初め 初めて会った人
		始め	→物事に関するのはじめのこと 仕事始め 始めと終わり
		はじめ	→上の二つに該当しない場合 ～をはじめ
	はたして	果たして	果たして成功するか
	はで	派手	
	はなしあい	話合い	
	はなしあう	話し合う	
	はなはだしい	甚だしい	
ひ	ひごろ	日頃	
	ひとつ、ふたつ	一つ、二つ	→「つ」がつく、「ひふみよ…」と読む場合は、横書きでも漢字
	ひとり	一人	一人の力 一人っ子
		独り	独り占め 独り者
	ひとりひとり	一人一人	→学校独自の言い方の場合は、「一人ひとり」も可
ふ	ふだん	普段	普段の行い
		不断	不断の努力 優柔不断
へ	へんせい	編成	教育課程の編成
		編制	学級編制
ほ	ほか	外	隊長外5人 ×隊長他5人
	ほど	ほど	先ほど 3日ほど
	ほとんど	ほとんど	×殆ど
	ほめる	褒める	人を褒める
ま	まじめ	真面目	
	ますます	ますます	×益々ご健勝の～
	まわり	回り	身の回り 胴回り
		周り	池の周り 周りの人
み	みいだす	見いだす	×見出す ×見い出す
	みつける	見付ける	
	みばえ	見栄え、(見映え)	見栄えがする
	みる	見る	新聞を見る 面倒を見る
		診る	患者を診る 脈を診る
	(て)みる	～(て)みる	見てみる 考えてみる 食べてみる
	みにつける	身に付ける	
む	むだ	無駄	時間の無駄
	むね	旨	その旨を伝える
	むり	無理	無理押し

よみかた		教頭会での使用	摘 要
め	め	目	三日目 8番目 効き目
		め	少なめ 長め 厚め
	めあて	目当て	
	めいりょう	明瞭	→明白、明確、はっきり 明瞭な間違い
	めざす	目指す	
	めざましい	めざましい、(目覚ましい)	めざましい活躍
	めんどう	面倒	面倒な仕事
も	もうしあわせ	申合せ	
	もうしこみしよ	申込書	
	もうしこみ	申込み	申込書 申し込む
	もしくは	若しくは	父若しくは母
	もちまえ	持ち前	持ち前の粘り強さ
	もつ	持つ	責任、希望、自信、勇気
	もと	下	法の下に平等 一撃の下に倒した
		元	出版元 火の元 元に戻る
		本	本を正す 本と末
		基	資料を基にする 基づく
	ものさし	物差し、(ものさし)	
	もんく	文句	文句を言う
や	やさしい	優しい	優しい心遣い
		易しい	易しい問題
	やむをえず	やむをえず、(やむを得ず)	
	やりとげる	やり遂げる	立派にやり遂げる
よ	よい	良い/よい	→文科は「良い」 →要領は調子がよい よい動き よい生活
		善い	善い行い
	ようす	様子	様子をうかがう
	ようする	要する	注意を要する
	よけい	余計、よけい	よけい悪い気分になる
	よさ	よさ	→要領では「よさ」 自分のよさ 心地よさ 表現のよさ よさや美しさ
	よしあし	善しあし	善しあしの区別
	よびかけ	呼び掛け	×呼掛け
り	りっぱ	立派	立派な人柄
れ	れんけい	連携	→連絡・提携して 保護者との連携
		関係	→物事が切れ目なく続く 関係プレー
わ	わかる	分かる	違いが分かる
		分かれる	意見が分かれる
		別れる	家族と別れて住む
	わが	我が	我が家 我が国
	わけへだて	分け隔て	分け隔てなく扱う
	わずか	僅か、(わずか)	僅かの差 わずかの差
	わずらわしい	煩わしい	煩わしい手続き
	わびる	わびる	非礼をわびる
	わたし	私	
	われ・われわれ	我・我々	我々一同

第一法規「用字用語新表記辞典」も参考に